

「特色GP」採択52件/(申請331件)!

- 慶應義塾大は5年連続の採択 -

旺文社 教育情報センター 平成19年8月

文部科学省(以下、文科省と略)は先ごろ、「特色ある大学教育支援プログラム」(以下、「特色GP」)の19年度分として、331件の申請に対し52件を採択した。採択率は15.7%。今回で公募が終了となる19年度「特色GP」の概要を紹介する。

「特色GP」は“課程別”公募

15年度から実施されている「特色GP」は、「“大学教育の工夫改善について”継続的に実績をあげている取組を選定」し、1件当たり上限で年間1,600万円(補助金基準額)を、2~3年間交付するもの。採択件数は、申請の状況等により調整があるが、全体として申請件数の15%程度となっている。

19年度の申請区分は、**学士課程**、**短期大学士課程**という学位を与える課程に応じた2区分。なお、大学院、専門職大学院の取組を対象とするプログラムが別途実施されており、18年度に設定されていた修士課程は対象外となった。

- 【申請区分】 学士課程、短期大学士課程；
- ① 教育課程の工夫改善を主とする取組
 - ② 教育方法の工夫改善を主とする取組
 - ③ 上記以外の教育の工夫改善に関する取組

【取組の要件】

- ① 教育目的を達成するために、これまで**組織的・継続的**に実施し、実績を上げている取組
 - ・組織的 = 学士課程は学部単位以上、短期大学士課程は学科単位以上、修士課程は専攻単位以上で実施している取組
 - ② 各大学・短大の**学位を与える課程**の教育目的・役割を明確化し、学生に対する**体系的な教育**として、さらに充実・発展させる取組
 - ・学位を与える課程 = 学修の成果を適切に評価して単位を認定するなどの取組が望ましい。
 - ・体系的な教育 = 教育カリキュラム及び学生教育の充実・改善を踏まえた補完的な教育などを含む。
- 申請は各大学・短大単位で、各申請区分に1件に限られ、連名の申請はできない。

19年度「特色GP」全申請・採択状況一覧表

(表1)

区分	教育課程		教育方法		左記以外		合計		
	大学	短大	大学	短大	大学	短大	大学	短大	
国立	申請件数	31	0	21	0	15	0	67	0
	採択件数	8	0	6	0	1	0	15	0
	採択率	25.8%		28.6%		6.7%		22.4%	
公立	申請件数	15	1	7	2	6	0	28	3
	採択件数	0	0	3	2	1	0	4	2
	採択率	0.0%	0.0%	42.9%	100.0%	16.7%		14.3%	66.7%
私立	申請件数	54	23	58	11	54	33	166	67
	採択件数	8	4	5	0	8	6	21	10
	採択率	14.8%	17.4%	8.6%	0.0%	14.8%	18.2%	12.7%	14.9%
小計	申請件数	100	24	86	13	75	33	261	70
	採択件数	16	4	14	2	10	6	40	12
	採択率	16.0%	16.7%	16.3%	15.4%	13.3%	18.2%	15.3%	17.1%
合計	申請件数	124		99		108		331	
	採択件数	20		16		16		52	
	採択率	16.1%		16.2%		14.8%		15.7%	

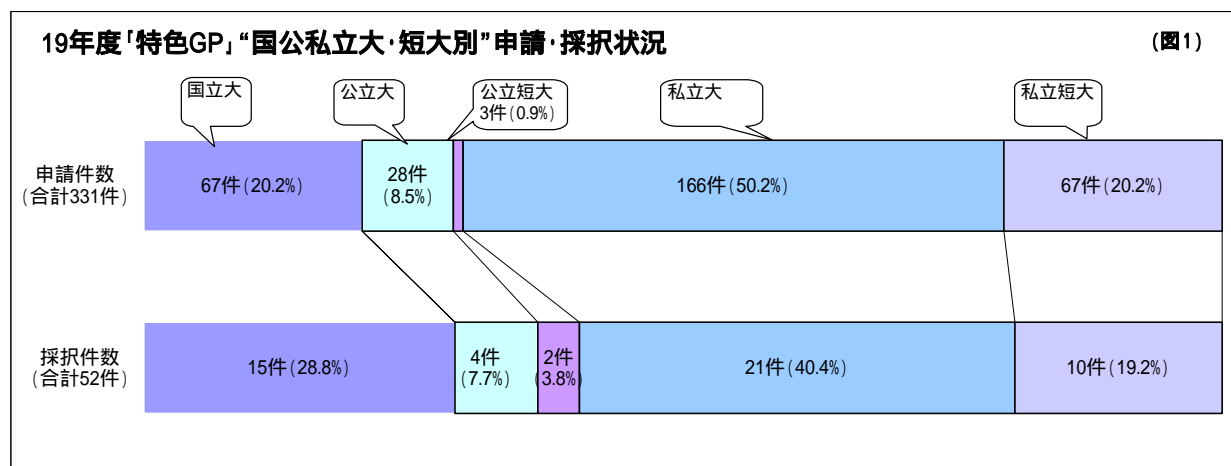
(注1)採択率(%) = 採択件数 ÷ 申請件数 × 100

(注2)区分: 大学 = 学士課程、短大 = 短期大学士課程

■「特色GP」の申請・採択状況

【私立大の申請件数は22%増】

19年度の申請件数は18年度と同数の331件であった。設置者別にみると、私立大が166件で最も多く全体の50.2%を占める。次いで、国立大、私立短大の各67件（それぞれ全体の20.2%）など。18年度と比較すると、私立大は30件（22.1%）増となっているのが目立つ。（表1参照）



【慶應義塾大は5年連続採択！】

審査は文科省所管の（財）大学基準協会が中心に運営する委員会により、書面およびヒアリングにより実施された。52件が選ばれ、採択率は15.7%と18年度（採択率14.5%）に比べ1.2ポイントのアップとなった。内訳は大学が40件（全体の76.9%）、短大が12件（同23.1%）。国公私立大別では、私立大が21件で最も多く、全体の40.4%を占めた。次いで国立大15件（同28.8%）と続く（図1参照）。

18年度に採択された取組は応募対象外だが、テーマが異なれば19年度も連続の応募が可能となっている。その結果、慶應義塾大は5年連続の採択となった。

なお、文科省は20年度に向けて、「国公私立大学を通じた大学教育改革の充実」事業全般の見直しについて検討を進めており、「特色GP」としての公募は19年度で終了する。過去5年間の大学（学士課程）の申請・採択件数の推移は表2の通り。

「特色GP」の年度別申請・採択件数の推移 (表2)

設置者別		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
国立大	申請	93	80	72	61	67
	採択	23	18	12	14	15
	採択率	24.7%	22.5%	16.7%	23.0%	22.4%
公立大	申請	46	41	35	23	28
	採択	6	3	2	2	4
	採択率	13.0%	7.3%	5.7%	8.7%	14.3%
私立大	申請	338	260	186	136	166
	採択	26	20	20	15	21
	採択率	7.7%	7.7%	10.8%	11.0%	12.7%
合計	申請	477	381	293	220	261
	採択	55	41	34	31	40
	採択率	11.5%	10.8%	11.6%	14.1%	15.3%

(注) 大学のみ。共同の取組は除く。

【志望大学選定に役立つ情報提供を】

採択された大学はホームページ等で積極的に情報提供をすることが求められている。大学選択に際し教育の中身が重視される現在、カリキュラムに直結した「特色GP」の取組を高校生・高校教員等に対しても、わかりやすく情報提供をすることが望まれる。

次ページから、「特色GP」のテーマ別採択状況一覧を掲載。

平成19年度「特色GP」テーマ別採択状況

学士課程：教育課程の工夫改善を主とする取組＜採択件数16件＞

大学名	設置	取組名称	取組学部等
茨城大	国	確かな学力の向上を目指す理系基礎教育 - 学生の意欲と自立性を引き出す多様な仕組みで構成される理系基礎教育の提案 -	大学教育センター、工学部、農学部、教育学部
筑波大	国	「チーム医療実践力」育成プログラム - 人間性・協調性を兼ね備えた医師の養成を目指して -	医学群医学類
東京外国語大	国	「教養日本力」高度化推進プログラム	外国語学部
東京農工大	国	興味と経験から学びを深化する基礎教育 - 4つの段階を踏む教育モデル - SEED -	全学
東京工業大	国	工学教育プログラムの継続的進化 - 世界最高水準の工学教育の実現を目指して -	工学部
新潟大	国	総合大学における外国語教育の新しいモデル - 初修外国語カリキュラムの多様化と学士課程一貫教育システムの構築 -	全学
京都芸術大	国	新たな工学的感性を養う教育プログラム - 表現行為の実践と人文的教養を基礎として -	全学
神戸大	国	協働の知を創造する体系的IPW教育の展開 - 多職種医療人による協働を基盤にしたカリキュラムの開発 -	医学部
慶應義塾大	私	プロフェッショナル・キャリア・プログラム - 英語による実践的経済学教育による国際的キャリア形成の試み -	経済学部
恵泉女学園大	私	教養教育としての生活圏芸 - 持続可能な環境と社会を担う市民の育成 -	全学
創価大	私	グローバル化時代の経済学教育 - 英語で学ぶ経済学が未来を切り開く -	経済学部
東京女子医科大	私	医のこころを実践する力を育むカリキュラム - 自分の特性を伸ばし社会に奉仕できる女性医師をアウトカムにした医学教育 -	医学部
金沢工業大	私	価値の共有による技術者倫理教育 - 行動を設計する新教養教育 -	全学
同志社大	私	学生と教員の幸せな出会いをめざす導入教育 - 大規模学部における組織的教育改善とその効果の測定 -	商学部
大阪女学院大	私	英語を教育言語とする学士課程教育の展開 - 教養教育・専門教育・専門実務教育と英語教育の統合 -	全学
九州産業大	私	全学共通英語教育による4年一貫した取組 - 実践的英語コミュニケーション能力の育成を目指して -	全学部全学科

学士課程：教育方法の工夫改善を主とする取組＜採択件数14件＞

大学名	設置	取組名称	取組学部等
群馬大	国	多専攻学生による模擬体験型チーム医療実習 - 学科内完結型から学科外参加・発信型への発展的取組 -	医学部保健学科
千葉大	国	パーソナルデスクラボによる実験教育の展開 - 新機器開発による少人数一組一斉実験教育の実現 -	全学
島根大	国	確かな教師力を育む多角的評価の実現 - 「1,000時間体験学修」「学生プロフィールシート」「面接道場」で可視化する教師としての自己成長 -	教育学部
岡山大	国	医学における知の創生現場実体験プログラム - 指導的医療人育成のための医学研究インターンシップ -	医学部医学科
広島大	国	協調演習による理学的知力の育成支援 - 「知ること」から「わかること」への知識昇華をめざして -	理学部
九州工業大	国	学生自身の達成度評価による学修意識改革 - 学習成果自己評価シートをベースとする自己評価システムの構築 -	全学
都留文科大	公	地域を基盤とした教師養成教育モデルの開発 - 学習支援を通して「子ども体験」の深化をめざす学生アシスタント・ティチャー・プログラム -	文学部
大阪府立大	公	大学初年次数学教育の再構築	工学部、生命環境科学部、理学部、総合教育研究機構
山口県立大	公	<重層的な学生支援教育>による福祉人材養成 - 学生の成長課題と専門教育課題の有機的結合による福祉的人間力獲得をめざして -	社会福祉学部
中央大	私	実地応用に基づく学際的な国際協力人材養成 - T字型専門教育によるアジアの開発・協力問題を中心とした実学教育の展開 -	全学
日本大	私	未来博士工房による自律性と創造力の覚醒 - 人力飛行機工房、衛星工房、PC工房、ロボット工房による自主企画型体験学習と目標達成型教育の充実 -	理工学部
ルーテル学院大	私	包括的実習指導教育システムの構築 - 段階的スキルアップとトライアングル指導の確立 -	総合人間学部
大阪電気通信大	私	企業熟練技術者を活用した産学連携工学教育	工学部(第1部・第2部)、情報通信工学部
エリザベト音楽大	私	<音楽家の耳>トレーニング教育法の開発 - 総合的音楽能力育成を目指す教育システムの開発と実践 -	音楽学部

学士課程：上記以外の工夫改善に関する取組＜採択件数10件＞

大学名	設置	取組名称	取組学部等
横浜国立大	国	体験型経営学教育のための教員養成計画 - 経営体験型シミュレーション教育の全国FD展開 -	経営学部
札幌医科大	公	学部一貫教育による地域医療マインドの形成 - 学内外の地域医療実習による地域との相互理解醸成プログラム -	医学部・保健医療学部
国際武道大	私	学生によるスポーツ医科学サポートシステム - 傷害予防とリコンディショニングの指導実践 -	体育学部
国際基督教大	私	自発的学修者を育むリベラルアーツ教育支援 - アカデミックアドヴァイジングからアカデミックプランニングへ -	教養学部
東京慈恵会医科大	私	地域の教育力を活かす医療者教育 - 大学と地域との連携 - 地域の教育力を大学に、大学の智を地域に -	医学部
明治大	私	「教育の場」としての図書館の積極的活用	全学
女子美術大	私	問題解決型美術大学教育の実践 - アート&デザイン・ファシリテーターの養成 -	芸術学部
京都文教大	私	現場主義教育充実のための教育実践 - 地域と結ぶフィールドワーク教育 -	全学
流通科学大	私	全学的一斉授業公開制度を軸とするFD活動	全学
沖縄大	私	ノートテイクから広がる大学づくり - 小さな大学での新たなユイマールの創造をめざして -	全学

(注)設置の欄は、国=国立、公=公立、私=私立を表す。

平成19年度「特色GP」テーマ別採択状況

短期大学士課程:教育課程の工夫改善を主とする取組<採択件数4件>

短大名	設置	取組名称	取組学部等
国際学院埼玉短大	私	卒業研究による短期大学専門教養教育の展開 - 短期大学士の質保証を目指して -	全学
青山学院女子短大	私	健康教育授業を軸とした健康支援	全学
日本大学短大部	私	工学(技術者)基礎教育の充実と学習支援 - 学習意欲を啓発する教育プログラムの実践 -	短期大学部のキャンパス (船橋校舎)
宝仙学園短大	私	保育者養成における平和教育 - 韓国保育研修	保育学科

短期大学士課程:教育方法の工夫改善を主とする取組<採択件数2件>

短大名	設置	取組名称	取組学部等
鳥根県立大学短大部	公	地域に広がる新しい看護ニーズに応える教育	看護学科
新見公立短大	公	質の高い看護職養成のための看護研究 - 主体的課題発見能力を育てる学習支援 -	看護学科

短期大学士課程:上記以外の工夫改善に関する取組<採択件数6件>

短大名	設置	取組名称	取組学部等
札幌国際大学短大部	私	特別支援教育の心と技を育てる音楽療育活動 - 音楽療育ワークショップ活動を通して育む学生の実践力と地域ネットワーク -	幼児教育保育学科 専攻科幼児教育専攻
植草学園短大	私	障害に関する専門性を身につけた人材の養成 - “障害関連科目”の充実・必修化と実習体験を重視した取組 -	全学
愛知文教女子短大	私	目的意識確立のための実践的教育 - 食物アレルギーを核とした特別実習プログラム -	生活文化学科
岡崎女子短大	私	心に届く子育て支援能力を育む幼児教育祭 - 子どもとの双方向的表現空間を通しての遊び支援 -	幼児教育学科第一部
高田短大	私	保育者養成校の子育て支援ボランティア体験 - 「子育て応援隊」の企画と実践 -	子ども学科
瀬戸内短大	私	団塊の世代との連携による地域との共生 - さぬきうどんインストラクター養成を通して地域と共に歩む実践教育 -	食物栄養学科

(注)設置の欄は、国=国立、公=公立、私=私立を表す。